

# 散歩だより

100号  
記念号

No. 100 2018年12月20日

編集・発行 市民自治こがねい

住所：〒184-0012 小金井市中町1-2-47 佐藤気付

Tel：090-6423-8702

<https://www.sijiko.com/>

編集前記

## 『散歩だより』 気がつけば22年、100号。

100号記念ということで、いつもの倍8ページの拡大版。

100号ということで、まずは「振り返り」、歴代3人の編集担当者の鼎談を企画しました。バックナンバー集めから始まりましたが、なんと、創刊号はいまも、見つかっていません。それでも通しで読み直してみると、小金井の市政、まちづくりの歩みが浮かび上がってきます。そして、時々の市民の思いが刻み込まれています。多くの人たちに寄稿いただいたり、アイデアをもらいながら続けてきました。そんな感慨にふけていると、「思い出話だけでいいの」という突っ込み。『散歩だより』のこれからを予感させる企画を！ということで出てきたのが、「請願・陳情のススメ」です。「市民の政策提言」のツールとして「請願・陳情」をもっと手軽に活用しよう、というメッセージです。調査、情報収集し、できるだけわかりやすく、活用のヒントを伝えるよう工夫しました。小金井市議会の「沖縄の米軍基地をめぐる陳情」が注目されているいま、タイムリーな企画となりました。

『散歩だより』はこれからも、市民自治の視点から市政・まちづくりのテーマを取り上げ、開かれた広場のようなメディアをめざしたいと思います。『散歩だより』100号は、企画、調査、テープ起こし、原稿、校正、編集、レイアウトなどすべてを運営委員、オブザーバーがちょっとずつ力を出しあい、つくりあげました。そして、多くの人の手によってあなたに届けられます。お楽しみください。そうだ、お手元に創刊号ありませんか？(J)



### 100号記念クイズ 答えは最終ページ

- ♥ 特集で、最も多く取り上げられたテーマは  
ア 駅前再開発・区画整理    イ ごみ  
ウ 情報公開・市民参加    エ 市庁舎
- ♠ 現在の発行部数は  
ア 5000部    イ 2800部  
ウ 1200部    エ 500部

## 『散歩だより』100号記念！ オープンカフェ 世田谷区長 保坂展人さんと語ろう！

～自治が息づく街へ 希望の地図の描き方～

場所：上之原会館 参加費：500円

開場：13:30

14:00～ 第1部 ゲストスピーチ

保坂展人さん(世田谷区長)

世田谷区長(前衆議院議員・ジャーナリスト)

1955年宮城県生まれ。

教育問題を経て、1996年衆議院議員初当選。3期11年で546回の国会質問に立ち、「国会の質問王」との異名をとる。

2011年4月の世田谷区長選挙で初当選。世田谷区長としての取り組みをまとめた、「88万人のコミュニティデザイン」(2014年・ほんの木)ほか著書多数。

15:30～ 第2部 オープンマイク&懇親会

2  
/  
24  
(日)

## 編集者3人、

## 『散歩だより』100号を散歩する。

漢人あきこ／可知めぐみ／関根幸恵

前身の『市民自治こがねいニュース』の発刊から約22年。

『散歩だより』は100号をむかえました。

今回は、歴代編集担当者3人に、これまでの歩みや印象的な特集について振り返ってもらいました。

市民が地域でメディアをつくることの意味、これからの地域メディアのありようについて、みんなできっしょに考えませんか？

### 『市民自治こがねいニュース』 事始め

漢人 最初は『市民自治こがねいニュース』という名称で発行してたんですよね。創刊号から7号までが、私の市議一期目の立候補(1997年)の選挙期間中と選挙の結果が出た直後くらいに出したもので。無事当選して、改めて市民自治こがねいとしてのニュースを出そうということになったのが8号です。

可知 8号からは編集会議的なものも

始めたよね。

漢人 誰に巻頭言を書いてもらうかとか、市政のテーマを特集するとか、あと議会の報告は私がまとめるとか。

関根 「漢人の市議会ウォッチング」ですね。すごく面白かった。市議会素人の目線で書かれてて、え？こんなことがあったのっていうのがすごくよくわかって。

可知 当時の市議会ってひどかったよね。

関根 恫喝とか？

可知 しきりに野次を飛ばすとか。でも、漢人さんが当選したこともあつ

て、傍聴も多くなったの、そうするとね、少しずつみなさんもお行儀が良くなって……。今ほど市民目線がなかった時代だから、漢人さんの報告を読むと、結構新鮮で驚きでした。

漢人 市議会が年4回、『市民自治こがねいニュース』は、その前後、年8回出してたんだよね。B5で8ページのポリウムだね。

関根 すごいね。

漢人 40号くらいまでだいたい同じスタイル、私の一期目4年間ってことですね。

### 『散歩だより』へ変身！

可知 私が出したのは、漢人さんの二期目のスタートから三期目に入る前までです。一期目の時は、年8回ニュースを作って、原稿も印刷もみんなやって大変だったわけじゃない。なのに二期目の漢人選挙、これはいけると思ったら、最下位当選！しかも、反省会をやったら、ちよつと外側にいる人からものすごい批判を受けたんだよね。

漢人 落選したかのような反省の日々だったよね。

可知 そこで、この『市民自治こがねいニュース』を変えることで、私は



左から、関根、可知、漢人

4年間頑張ろうと思ったんです。私たちの意見を伝えるというよりは、事実を伝えるっていうことから入りたいなって。読み物的にも、私たちと親しくない人が読んで面白くて、役に立つなと思えるものにしたと思います。名前も『散歩だより』として、小金井を散歩しながらいろんな話題を拾っていきましようみたいな感じでやったのが、2001年7月の41号からですね。回数は減らし、A4で4ページで年4回、季節ごとに1回って感じですね。

漢人 そこで、『散歩だより』に変わった41号から『漢人の議会レポート』は独立したんです。議員として当選



『散歩だより』45号（2002年7月）

表紙で日本地図と各種ゴミの行き先をビジュアル化。小金井市のゴミがどこへゆくのか追跡調査しました。スチール缶は瑞穂町を經由して栃木県小山市へ、アルミ缶は埼玉県新座市を經由して埼玉県熊谷市でリサイクルされていることがわかりました。小金井市で、家庭ゴミが有料化される以前の特集でした。

## 『散歩だより』100号 特集ベストテン

- 第1位—市議選 8回
- 第1位—市長選 8回
- 第1位—ごみ 8回
- 第1位—まちづくり(再開発・区画整理) 8回
- 第5位—市役所のしくみ  
(「行革」/非常勤化/民間委託) 7回
- 第5位—市民参加・情報公開 7回
- 第7位—環境 5回
- 第7位—子どもの人権・教育 5回
- 第9位—庁舎・福祉会館 4回
- 第9位—議会改革 4回
- 第9位—障害者 4回

以下、12位～

- 第12位—原発・エネルギー/スローライフ/介護/男女平等 各3回
- 第16位—平和 2回

するには名前を売らなきゃダメじゃないか、投票は市民自治こがねいって書くわけじゃないから(笑)、議員としての漢人を前面に出したものを年8回、『散歩だより』とは別に続けていこうと。

可知 『散歩だより』になって、4年目、3回目の選挙はどうなったんでしたっけ。

漢人 得票は1.5倍！

関根 1531票だもんね。それで可知さんは退くことを考えた？(笑)

可知 そういうわけじゃない(笑)。最初から4年って決めていたのと、私の仕事が忙しくなってきたのと、教科書問題\*が起きて、そちらに力を入れたいので足を抜かせてくださいって感じですね。で、途中から関根さ

んが参加してくださったんですね。

漢人 関根さんは、可知さん編集の『散歩だより』を見て面白いって思ったんだよね。

「小金井市のごみの行き先は？」

関根 そうなんです。さっき可知さんが言われたような客観的な事実を伝えているところ、それが取材に裏打ちされているところに、すごい信頼感をもったんですね。これはすごいと。

漢人 具体的には？

関根 「小金井市のごみの行き先は？」(45号)。ゴミは収集されさえすればあとはなんとかなる？「なりません！ん！」っていう、最終的にどこで処

理されているかとか、そこまでよくたどったなあと思いました。

可知 電話で市役所に聞くと次まではわかるんだけど、そこから先は知らないんですよ。じゃあ「次の業者の連絡先を教えてください」って言って、そこから次、次、次みたいな感じで「とにかく追いかけていられるところまで追っかけよう」とやっていったらごみの行き先が全国各地だったし、発泡スチールのトレイは海外に行ってるんですよ。最近、中国はお断りしてますけど、当時はプラスチックとかはどんどん行ってました。これは自分も知りたいし面白いからやつ

たんです。印象的だったのは、このあと市が同じようなことを市報でやったんだよね。だから市も自分たちが知らないってことに、これを出した後に気付いたのになって。

漢人 読まれていたってことだね。ゴミ問題も南口再開発問題も、足を運んでインタビューしたりリサーチしたり、結構手間をかけてたよね。

可知 そうですね。だから4ページしかないんですけど、かなり気合を入れて54号まで作りました。その後は関根さんにバトンタッチね。



『散歩だより』54号(2005年1月)  
鼎談でも話題の江戸野菜を使ったレストランは、現在、市内各所にオープンしています。表面では、「50年の計は現在(いま)にあり」と題して、人口予測や温暖化の進行を調査。小金井市が人口減少・高齢化する一方、世界的には爆発的増加。真夏日は年間100日以上に、などなど。小金井市の近未来を想像することで、まちづくりのヒントが見えてきます。

### 「小金井50年後新聞」

漢人 今回100号ってことは、関根

さんが担当したのがほぼ半分くらいですね。自分で作った中で記憶に残ったもの、満足感のあるものは？

関根 「可知名さんたちと一緒につくった『小金井50年後新聞』です。私は、可知名編集長の下で51号から誌面レイアウトをしていたんですが、いろんな人とわいわい話し合いながらアイデア出し合って分担し合っていて、がった誌面という意味で、この54号、すごく印象に残ってるなあ。

漢人 そうそう。これは『散歩だより』を初めて全戸配布しようということと、がんばって作ったんだよね。

可知名 だけど漢人さんの名前はほとんど

ど出ていない。奥ゆかしいよね。(笑)

漢人 そう。私の名前は、「95歳私が市議会議員だったころ」って記事があるだけ(笑)。

全戸配布したら、「ここに載ってる『江戸野菜レストラン』って、どこにあるんですか」って問い合わせがきたんだよ。

関根 そうなんだ？

漢人 今はもうあるけど、このころは50年先にならないとできないって思ってたんだね。

### 「市役所のしごと」

漢人 議員になって市役所について知るようになって、行革で民間委託は進んでいくし、思った以上に非常勤化も進んでいるみたいということ

## 「市民自治こがねい」……には影がある

闇に跋扈する非公然会員。ふだん街頭に立って顔を晒すなんてことはもちろん、会議や集会・企画物、たんなる飲み会にすら参加しません。顔も口も出さずにしかし、彼(女)らはすぐ手を出す……。

たとえばこの『散歩だより』。市内だけで届け先は2500軒を優に超えます。全部で3千近くの郵送には「ゆうメール」利用でも、定形外封筒では一通100円ちょい。てことは1回の発送でざっと30万円！ これでは完全に命取りです。

そこで暗躍するのが影の人員。天下の郵政を通さず、自足自配して回るのです。もっか市内半分ほどがこれで浮きます。しかしまあこのSNS全盛の現代、大手新聞すらギリ貧となるなか、なんともアナクロな紙媒体に心血注いで……と思わずにはられませんよね。ほとんど絶滅危惧種です。

そして発送作業は2日がかりの一大イベントで

す。封筒への宛名シール印字・貼り付け、印刷物の折り、複数封入物の組み込み、封入・糊付け、郵送段取り手配り手配……、とうぜん影たちにも動員がかかります。

このひたすら作業に明け暮れる時間に花咲くのが与太話。じつは作業の進捗より、この副次効果としてのコミュニケーションこそ隠れた財産かもしれません。手を動かしながらの話は弾むし、検索しようもない素朴な疑問のぶつけあいやら裏情報やら……

これこそ“市民自治”の下地なんでしょう。名前も顔も晒しながら「市民自治こがねい」という広場を支えることに心身削る運営委員たちをさらに支えんと忍ぶ影、現にそんな影から議員も生まれちゃってるし。

(中町 とかげとかげと)

調査したんですよ。単純に時給に換算したら、当時、正規職員は平均4195円で非常勤は1500円だから3分の1程度。そんなに違うんだ…と思ったよね。

関根 これはいつのでしたっけ？

漢人 これは49号。私の二期目の時ね。

可知 これもみんなで手分けして、電話して聞いたりして調べました。調べた成果が一面でうまく活きてるんだよね。ちよつとクイズっぽくやってみようとか。でも、クイズにしながらもいいって言う人もいました。

関根 そういう意見もあるでしょうね。でも、私はこのクイズに食いつきました。しかし非常勤化の流れは止まらないよね。この特集も繰り返しやってる。

可知 年を追って同じテーマでやって

るのがすごくいいなと思う。

### まちづくりのメディアとして

漢人 市政や環境問題を見るにしても、もつと政治に繋がる切り口で、

でも入り口としては軽い、そういううまい位置を取れるといいと思う。そのへんのニーズはあるんじゃないかな。

関根 そうね。その入り口の敷居を下げるようなメディアは求められているかもしれないですね。しかも紙で。スピードの点ではどうしたってインターネットには勝てないけど、紙のよさって、自分が読みたいタイミングで、じっくり自分のペースで頭の中で反芻したり考えをまとめたりにしながら読めるところにあるん

じゃないかな。

可知 『散歩だより』はつながりのある人だけに届いているとすると、私たちだけが知ってる人には渡っていないけど、それ以外の人には渡っていないということですね。でもむしろ関心のない人にも読んでほしいと思いつながら作っているところもあるわけですよ。そこをどうするか。

漢人 「ねえ、知ってた!?」とか、「ちよつとおもしろいよ」とか、周りの人に話したくなるような内容が求められるのかな。小金井限定の身近な政治やまちづくりのメディアとしては貴重な存在なんだよね。

関根 そのためにも、やっぱり現場の声と調査の両輪で、「そんなんだ！」って思ってもらえるような誌面にしたいんですよ。

漢人 最近、当事者の声を寄せてもらうパターンが多かったかな。現場の実情を伝えるのは大事なんだけど、それだけでは、ちよつと説得力が足りないかも。

関根 調査、ですね。まずは「ゴミの行方NOW」にチャレンジかな。

『散歩だより』がどんなふう受け止められているのかも知りたいです。

可知 「散歩だよりの行方」を調査してみたらいんじゃない。アンケートとか。

関根 そうね、あと「散歩だより」を読んでの会」とかいいかも。今日はありがとうございました。やっぱり迷ったときには温故知新ですね。

『散歩だより』のこれからがちょっと見えてきたように思います。例えば、「調査だけなら面白い、やってみよう」っていう人を募ってみるとか。小金井にこだわった「まちづくりのメディア」としてアイデアを出し合って、ぼちぼちやっていきましょう。

※教科書問題 1996年にできた「新しい歴史教科書をつくる会」が、それまで中学校で使われていた歴史教科書に「従軍慰安婦」や「南京虐殺」などの記述があることを、「自虐史観」と批判。2001年には自分たちの会（つくる会）が作った中学の歴史と公民の教科書を探検させることを目的に、各地の教育委員会で行われている教科書採択方法にも影響を与えた。



「特集ランキング」では5位だったものの、7回も特集されてきた「市役所問題」から。あれも委託、これも委託、という状況はいまあまり変わらない? 問われるのは「公」のあり方。考えつつけていきたいテーマですね。

# 市議会に陳情を出します。

請願、陳情は、市民が市政への提言を市議会を通じ行うツールです。陳情をただ出すだけでは、市議会の多数の賛成を得て、市政の政策にまでしていくことは、なかなか難しいです。同じ思いや、考えの市民によびかけ、意見交換をし、その政策を実現するための「会」をつくったり、他市の動きなども調べたり、学習会をしたり、広く市民はもちろん、市議、市の関連部局にも声をかけ、政策実現の土壌づくりを並行して進めていくことが大事です。ここでご紹介する「LGBTを人権施策に」という動きはそんな試みの一つです。

応用編

## LGBTの人権施策を 小金井市でも積極的に進めよう!



10月7日市民自治こがねいは、レズビアン（女性同性愛者）としてカミングアウトしている衆議院議員の尾辻かな子さんをゲストに迎え、「アクション!多様性を尊重する社会をつくろう」を開催しました。小金井市や議会でのLGBTに関する取り組みの報告や、三鷹市と調布市の性的少数者の二人からのそれぞれの活動に関する熱いお話も伺いました。

小金井市は2003年に男女基本条例の市民の定義に「性的指向にかかわらず」と定めましたが、LGBTに関する市の取り組みは十分ではありません。杉田水脈衆議院議員の「LGBTには生産性がない」という主張に対し、抗議の声が広がっていた時期でもあり、今後新しい動きを作っていこうということで企画したイベントです。

小金井市が、「LGBT」をはじめとする性的少数者の人権施策を積極的に進めていくよう声を上げていきましょう。三多摩でも、すでに国立市が「女性と男性及び多様な性の平等参画を推進する条例」を施行し（2018/4月）、府中市が2019年4月から「同性パートナー認証制度」をスタートの予定です。

「多様な性が尊重される小金井の会」がスタートし、3月議会に陳情を出すことになりました。ぜひ、一緒に行動していきましょう!!  
若林苗子（桜町）

### LGBT人権施策の各地の動き

- 「国立市女性と男性及び多様な性の平等参画を推進する条例」では、性的指向・性自認を定義に加え、公表の自由は個人の権利として、アウトティング（同意のない第三者への暴露）を認めないことを定めた
  - 「パートナーシップ制度」は2015年の渋谷区から始まり全国9自治体が導入。さらに13自治体が導入を決定もしくは検討中。渋谷区は議会議決が必要な条例で定め、公正証書を必要とする法的効力のある制度（有料）。他の自治体は議決不要の要綱。中野区は法的効力の有無は選択制。来年度スタートする千葉市と横須賀市では同性事実婚カップルも対象とする予定
- パートナーシップ制度** とは一制度に基づいて自治体は当事者にパートナー証明書を交付。公的にカップルとして認められることで、緊急時の病院での面会や賃貸住宅の同居、生命保険の受け取りなどがやりやすくなり、同性カップルへの理解促進が期待される
- 「自治体にパートナーシップ制度を求める会」が、2018年6月から全国で陳情・請願提出に取り組み、9月議会までに25議会が採択。複数の自治体はパートナーシップ制度に限定しない包括的な施策の推進を求める内容

### 「LGBT」とは～多様なセクシュアリティがあります

レズビアン (L) —— 女性同性愛者  
 ゲイ (G) —— 男性同性愛者  
 バイセクシュアル (B) —— 両性愛者  
 トランスジェンダー (T) —— 性別越境者 GID (性同一性障害者) も含む  
 インターセクシュアル —— 生殖器、性染色体などが男女に分類されない人  
 Xジェンダー —— 男女の性別を越えた性のありよう  
 ヘテロセクシュアル —— 異性愛者

### 「SOGI (ソジ)」とは～最近よく使われます

Sexual Orientation (性的指向—誰を好きになるか) と  
 Gender Identity (性自認—心の性、自分の思う性別) の頭文字を取った言葉

日本ではLGBTの人は約8%の割合で存在するとされています。13人に1人、左利きやAB型の人とほぼ同じ割合です。

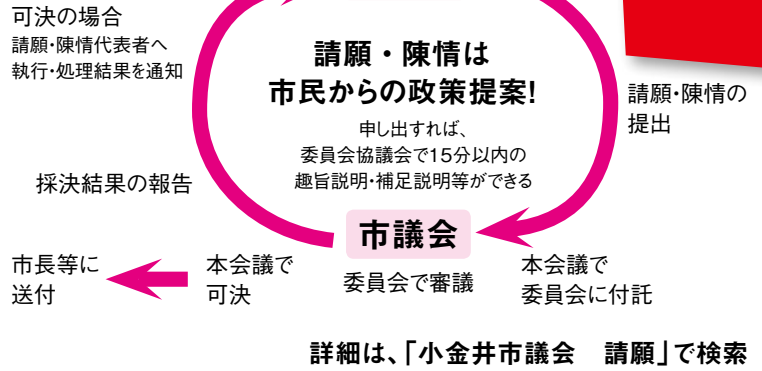
LGBTであることで、学校、会社、地域で社会的無理解、偏見、差別の中で自分らしく生きることが困難な状況にあります。

## 基礎編

### 陳情・請願ってなに？

市の行政、国に対して要望がある場合、だれでも市議会に「請願」や「陳情」をすることができます。請願権は、憲法 16 条で保障されている重要な市民的権利で、市議会への「請願」「陳情」は、地方自治法で定められています。なお、小金井市議会では、「請願」も「陳情」もほとんど同じ取扱いをしています、「請願」には市議会議員の紹介が必要です。

### 請願・陳情の流れ



### 12月議会に提出された陳情は

「キンヒバリの里の残地の取得を求める陳情」「リサイクル事業所の継続をのぞむ陳情」「市の体育施設の自販機利益は市として収入し、市内スポーツ団体に平等に配分することを求める陳情」「環境配慮型公共施設のモデルとなる「新庁舎・新福祉会館」(グリーン庁舎)の実現を求める陳情」「幼児教育・保育の無償化に関する意見書の提出を求める陳情」「ペンス副大統領ほか米国の文民要人が我が国入出国の際、日米軍専用施設、横田飛行場等を使わないことを求める意見書提出陳情」  
この1年での陳情は46件になりました。

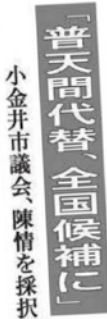
### 陳情書(および請願書)・議員案(意見書・決議・議員提案条例)の市議会ホームページでの公開が決まりました。

—2018年8/26市議会広報協議会  
すでに、三多摩26市のうち半数以上で「すべて公開」されていましたが、小金井市では、議会ホームページ、「市議会だより」では、陳情書・請願書のタイトルと採決結果のみ掲載し、内容については非公開、だれもが知ろうと思っても知ることはできませんでした。今回、陳情・請願内容がHPで公開されることで、陳情者・請願者の市政・まちづくりへの提言を市民全体で共有できる道が開かれました。ようやくですね。

## 実践編

### ひとりの市民の陳情が 全国ニュースに!

### 「辺野古新基地建設の中止と普天間基地代替施設の問題について民主主義及び憲法に基づき公正に解決すべきことを求める陳情」



「沖縄に米軍基地が偏在している状況を変えるため、ヤマト(本土)の人に当事者意識をもって議論してほしい」と陳情を出したのは、市内に住む沖縄出身の米須清真さん(30歳)。米須さんは初めての陳情、ひとりで市議会の各会派を回り、陳情の趣旨を説いて回りました。その結果、9月議会で賛成多数で採択されました。この趣旨での陳情採択は全国でも初めて、画期的なことでした。沖縄の新聞はもちろん、全国紙、テレビでも大きく取り上げられました。陳情の趣旨を生かした国への意見書も12月議会で可決・送付されました。

※意見書の全文は市民自治こがねのHPに掲載

### 陳情デビューの記

横須賀雪枝(中町)

### リサイクル事業所の継続を求める陳情



リサイクル作業所で購入した着物で陳述する横須賀雪枝さん(撮影:安田桂子)

私が陳情を出してみようと思ったきっかけは、小金井市のリサイクル事業所が突然閉鎖するの聞いたからです。リサイクル事業所はゴミの削減のために非常に大切な施設ですし、食器や着物など掘り出し物があるので定期的にいくのを楽しみにしていました。それをSNSで嘆いていたら、同じ気持ちの友人が何人もおり、「存続のために陳情を出そう」「出すなら早い方がいい」ということになりました。これまでに間に会を結成し陳情を出すことになりました。これが、自分を中心になって出すのは初めてのことで、まして議会で陳情をすることになるとは考えてもいませんでした。

当初私が書いた陳情文の下書きは、自分の気持ちをぶつけてしまっているような内容でしたが、仲間と話し合ううちに市の「一般廃棄物処理計画」を引用するなどのアイデアなども出て、市が出した計画と整合性が取れない点などを書きわかりやすくするよう努めました。

建設環境委員会に付託されることが決まり、陳述の日、リサイクル事業所で購入した着物を着ていくことにしました。リサイクル事業所にはゴミにするのはもったいない良いものがたくさんあることを伝えたかったからです。緊張しましたが、議場に入って傍聴しているうちに場慣れしてきて、思っていたより落ち着いて陳述できました。審査の結果は継続になり、まだ結果は出ませんが、出したことよって新たにわかったことも多かったですし、何より自分たちの意思を議会に直接伝えられてよかったです。しかし陳情は議会に直接であって、今後良い結果が出るようにさらに努力したいと思います。

# 2019年4月から 新庁舎・新福祉社会館、「基本設計」へ

## 「新庁舎・新福祉社会館」についてちょっとおさらい

- ① どこに?…………… ジャノメシシ跡地  
(中町三丁目暫定広場)
- ② 敷地の広さは? …………… 1万1,252.05㎡
- ③ 新庁舎と新福祉社会館を、「複合施設」として建設
- ④ 全体の床面積は? …………… 1万6,400㎡
- ⑤ いつできるの? …………… 2023年度1月
- ⑥ お金はどれだけ? …………… 90億円前後?



ジャノメ跡地。左手奥が清掃関連施設。  
ふだんは、子どもたちの遊び場としても使われています。

これに加え、最近明らかになってきたことは、建設予定地にある

清掃関連施設はそのまま、建設、竣工後移設する。新福祉社会館部分は早期使用をめざす、ということです。

2018年11月、「市民説明会」が市内5か所で開催されました。参加者は、議員、業者関係を除くと120名程度でした。90億円の小金井市史上最大の事業への市民の関心は決して高くありません。市民説明会での配布資料の内容が、説明趣旨と齟齬があったとし、HP、市報に謝罪と訂正が掲載されました。齟齬というより説明の肝が間違っていたのではないのでしょうか。「複合施設」ということも危うくなっている気がします。「基本」がふらつき気味のまま、「基本設計」に入る、不安があります。また、この間の議会での議論や市民説明会での説明が「配置計画」に偏っているのも、気になります。「環境にやさしい庁舎」、「防災拠点としての庁舎」、「複合施設のソフ面、機能面」について「基本設計」の選考にあたって、積極的に提案してほしいと思います。

## 市民自治こがねい、市長へ申し入れ

そこで、市民自治こがねいは、市民説明会を受けて、11月5日、西岡市長への申し入れを行いました。その回答は誠実なものとは言えませんでした。詳細は市民自治こがねいのHPに掲載しています。

最大の公共施設、しかも100億円近い大事業、長期に使うもの、後々後悔しないものをつくってほしいと思います。設計から建設、竣工まで、それぞれの節目で市民参加のさまざまな手法を取り入れてほしいと思います。早期竣工を願っています。

## 「市民自治こがねい」とは

この小金井が、ひとりひとりの人権が尊重され、だれもが生きいき暮らしつづけられる町であってほしい、この小金井を自治が息づく町にしたい。そのために市民自らが発言し、行動し、市政のあり方を変え、町づくりを進めていこう——そんな共通の思いをもつ市民たちのあつまり。それが〈市民自治こがねい〉です。

## 「市民自治こがねい」は会員を募集しています

会費 1口=3000円/年

・賛助会員 1口=1万円/年

・ニュースカンパ 1口=1000円/年

郵便振替 00130-6-352041

<https://www.sijiko.com>



【封筒の「なぞかけ」続き】  
そのころは——

新庁舎（新潮社）の作り方が  
問われています。  
（問われているのは  
それだけじゃないですがね。）